

情報セキュリティマネジメントシステム (BS7799・ISMS) コンサルティング

すでに情報セキュリティマネジメントの有無が電子商取引ビジネスにおける競争力源泉になっています

情報セキュリティはもはや必須科目

安ければいい時代はもう終わりです。品質や環境、安全、プライバシー保護などやるべきこときちんとやる会社こそ評価される時代になってきています。特にインターネットや携帯電話といった誰でも簡単に利用できる情報機器が広まる中で、企業側の情報に対するマネジメント力が強く問われるようになってきています。**顧客情報や従業員のプライバシーを保護したり、特許や商品情報、業務システムといったビジネス上の競争源泉をガードすることは企業にとって必須科目になりつつあります。**

こんなにある情報リスク

情報リスクは何も情報が盗まれるような特殊な場合だけではなく、むしろ情報リスクの怖さは誰にでも起こりうる容易さにあります。**大きな情報漏えい事件のほとんどが従業員による内部犯罪です。**インターネットでは「各種名簿、デ・タ 特殊情報を当社で買取ます・・・」といった悪質名簿会社が内部犯罪を勧誘しているのです。廃棄パソコンも恐ろしいです。廃棄したはずのパソコンから青ざめるような情報が復元されるとしたら・・・**昔、自分の血を売っていた人が今では他人の情報を勝手に売るので。**情報リスクは犯罪だけではなく、情報システムはいつ故障してもおかしくありません。バックアップがあっても間違いなく元に戻るでしょうか。顧客はシステム復旧まで待ってくれるでしょうか。本当のシステム障害対策は、**故障時における待機コンピュータへの切り替え、あるいは手作業による事業継続のための訓練が行われているか** どうかなのです。

恐ろしい口コミ攻撃への防衛方法

2ちゃんねるという電子掲示板をご存知でしょうか。会社名や個人名が実名で登場する様々な書き込みの多くは誹謗中傷です。「社の弁当は賞味期限切れの食材を平気で使っている」、「社の 氏は暴力団関係者だ」などといった書き込みが会社や本人が知らないうちに広まっているのです。こうした悪質の口コミは匿名性をいかに利用する人が急増しているように思われます。嫌な思いをした人間が簡単に仕返すことができるのです。では企業側はどうやって防衛すればよいのでしょうか。一つには自社への悪口を監視するツールを導入する方法があります。そして、**もっとも有効な対策が自社にとって好ましい評判を増やして、悪い口コミの信ぴょう性を落とす方法**です。顧客や社員の満足を大切にしている企業であれば自社のホームページを使っていくだけでもよい評判を発信できるでしょう。



	分野	内容
管理分野1	セキュリティ基本方針	情報セキュリティマネジメントの方針
管理分野2	組織のセキュリティ	情報セキュリティ推進に責任を持つ委員会の設置について
管理分野3	資産の分類および管理	資産項目の作成や資産分類について規定
管理分野4	人的セキュリティ	人的要因によるリスク軽減を目的に、責任、採用条件などを規定
管理分野5	物理的および環境的セキュリティ	入退室管理、施設や装置取り付けなどについて規定
管理分野6	通信および運用管理	情報処理システムの運用管理のセキュリティについて規定
管理分野7	アクセス制御	利用者の情報アクセス管理やネットワークアクセス制御について規定
管理分野8	システムの開発および保守	健全な開発・運用のため、システムへのセキュリティ要件、アップグレードプログラムに対するセキュリティ要件、情報の秘匿・認証・暗号鍵の管理などについて規定
管理分野9	事業継続管理	事故、災害からの復旧・予防管理、事業継続管理についての規定
管理分野10	適合性	知的所有権、プライバシー保護などの法的措置への準拠(適合性)を規定

情報セキュリティマネジメント規格BS7799・ISMSの認証取得をサポート致します

情報セキュリティマネジメントシステムの規格としては英国のBS7799とJIPDEC（財団法人日本情報処理開発協会）が推進しているISMS（BS7799と内容が同じ）があります。プライバシーマークの取得を同時に考えることも可能ですのでご相談下さい。

杉浦システムコンサルティング,Inc

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93 京都リサーチパーク6 号館401 号

TEL 075 (321) 5528 FAX 075 (315) 8497

Email sugiura@mbox.kyoto-inet.or.jp HomePage <http://www.st.rim.or.jp/> ryoma